

Date _ _ _ _ _

国際社会の法 II

1 講師

Name: 新垣修 (Arakaki, Osamu)

E-mail: osamu.arakaki.76@hosei.ac.jp

第1回 プロローグ：法とは何か？

- 1 はじめに
- 2 コースオリエンテーション
- 3 法とは何か？
- 4 国際法とは何か？
- 5 まとめ

20 年 月 日

第2回 人間とは何か、人権とは何か？

- 1 はじめに
- 2 人間である条件
- 3 人権と人間
- 4 人間と他の境界
- 5 人間という不確実な存在
- 6 変化する人間の概念
- 7 人間と人権
- 8 おわりに

20 年 月 日

第3回 国際人権法の始まりと世界人権宣言

1 はじめに

2 国際人権法の萌芽

3 国際人権法の誕生と展開

(1) 国際連盟と人権：労働と少数者保護

(2) 国際連合と人権：平和と人権の連結

3 世界人権宣言とその拡張

(1) 反差別

(2) 脱植民地

(3) 貧困

(4) 環境

5 まとめ

参考文献：

田畑茂二郎『国際化時代の人権問題』岩波書店（2002年）第1章～第3章

20 年 月 日

第4回 国際人権規約

- 1 はじめに
- 2 市民的及び政治的権利に関する国際規約
 - (1) 内容
 - (2) 性質
 - (3) 実施制度
- 3 経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約
 - (1) 内容
 - (2) 性質
 - (3) 実施制度
- 4 その後の展開
- 5 まとめ

参考文献

宮崎繁樹（編著）『解説国際人権規約』日本評論社（1996年）

20 年 月 日

第5回 第三世代の人権

- 1 はじめに
- 2 第三世代の人権論
 - (1) 背景
 - (2) 人権としての発展の権利
 - (3) 概念
 - (4) 批判
- 3 地域的取組み
 - (1) 欧州
 - (2) 米州
 - (3) アフリカ
- 4 まとめ

第7回・第8回 子ども（1）（2）

- 1 はじめに
- 2 子どもの権利の歴史
 - （1）第一次世界大戦後：ジュネーブ宣言（1924年）
 - （2）第二次世界大戦後：子どもの権利宣言（1959年）
 - （3）子どもの権利条約（Convention on the Rights of the Child: 1989年国連総会で採択、1990年発効）
- 3 子どもの権利条約：性質と内容
 - （1）「親によって保護される対象」から「権利の主体」へ
 - ① 保護思想と解放思想の対立
 - ② 生きる権利、意見表明権、表現・情報の自由、良心、宗教の自由、結社・集会の自由、プライバシー・通信・名誉の保護、参加する権利
 - （2）「発達するもの」としての子ども
 - ① 家庭環境の重視、差別禁止、親に養育される権利
 - ② 親と国家の責任
 - （3）子どもの最善の利益
- 4 子どもの権利条約：実施措置
- 5 子ども兵（少年兵・少女兵：child soldier）とは？
 - （1）定義
 - （2）歴史
- 6 子ども兵の実態
 - （1）子どもの徴兵：貧困と恐怖の背景

- (2) 紛争で消費される子ども達
- (3) 子どもを兵士に仕立てる方法

7 紛争における子ども消費の構造

- (1) 洗脳と訓練
- (2) 武器の変化
- (3) 冷戦構造の崩壊と地域紛争の変化

8 子ども兵の心の傷の回復と社会復帰

おわりに

参考文献：

アマドゥ・クルマ『アラーの神にもいわれはない：ある西アフリカ少年兵の物語』人文書院（2003年）

鬼丸昌也（他著）『ぼくは 13 歳 職業、兵士。：あなたが戦争のある村で生まれたら』合同出版（2005年）

イシメール・ベア『戦場から生きのびて：ぼくは少年兵士だった』河出書房新社（2008年）

本田和子『子ども 100 年のエポック』フレーベル館（2004）

20 年 月 日

第9回 ジェンダー（1）

1 はじめに

2 国際社会における女性

（1）国連憲章

（2）世界女性会議：Mankind から Humankind へ

3 女性差別撤廃条約（女性に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約：1979年）

（1）権利の内容

（2）条約の特徴

① 保護の制限

② 差別的慣行の廃止

（3）条約の実施措置

① 女性差別撤廃委員会

② 選択議定書

4 貧困の中の女性

まとめ

参考文献：

山下泰子『女性差別撤廃条約の展開』勁草書房（2006年）

20 年 月 日

第10回 ジェンダー（2）

はじめに

- 1 セックスとジェンダー
- 2 女性の排除
- 3 FGM/C (Female Genital Mutilation/Cutting : 女性器切除)
 - (1) FGM/C とは？
 - (2) FGM/C の類型
 - (3) FGM/C の方法
 - (4) FGM/C の影響
 - (5) FGM/C の目的
- 4 FGM と国際人権法

まとめ

参考文献：

ベヴェリー・アレン『ユーゴスラヴィア：民族浄化のためのレイプ』柘植書房
新社（2001年）

内海夏子『ドキュメント：女子割礼』集英社（2003年）

キャディ『切除されて』ヴィレッジブックス（2007年）

20 年 月 日

第 11 回 人種差別

- 1 はじめに
- 2 人種差別撤廃条約
 - (1) 背景
 - (2) 国連と条約締結
 - (3) 実施制度
- 3 人種差別撤廃委員会
- 4 「人種化」する沖縄人
 - (1) 再生産可能な「人種」概念
 - (2) アイデンティティの安全保障とレイシズム
- 5 沖縄の基地と差別効果
 - (1) 間接差別としての基地被害
 - (2) 「アパルトヘイト」と沖縄基地問題
- 5 プラグマティズムとしてのレイシズム禁止規範
- 6 おわりに

参考文献

坂本義和『相対化の時代』岩波書店（1997年）
ミシェル・ヴィヴィオルカ（訳：森千香子）『レイシズムの変貌：グローバル化

がまねいた社会の人種化、文化の断片化』明石書店（2007年）
宮里政玄、新崎盛暉、我部政明（編著）『沖縄「自立」への道を求めて：基地・
経済・自治の視点から』
村上正直『人種差別撤廃条約と日本』日本評論社（2005年）
Sydney Tarrow *New Transnational Activism* (CUP, 2006)
United Nations Treaty Collection (United Nations)
<[http://treaties.un.org/Pages/ViewDetails.aspx?src=TREATY&mdsg_no=IV-
2&chapter=4&lang=en](http://treaties.un.org/Pages/ViewDetails.aspx?src=TREATY&mdsg_no=IV-2&chapter=4&lang=en)>
Andrew Yeo *Activists, Alliances, and Anti-U.S. Base Protests* (CUP, 2011)